



日本の産業開発と開発協力の経験に関する研究： 翻訳的適応プロセスの分析

目的： 日本の産業発展や開発協力の経験の特徴を明らかにし、関心をもつ途上国の政策担当者・実務者や国際社会に対し、「翻訳的適応」の具体的事例の分析に基づいて整理した形で伝える。

研究手法： 東南アジア、サブサハラアフリカ、ラテンアメリカ地域における開発協力案件に関する質的複数ケーススタディ

実施期間： 2019年7月～2024年3月



特徴

- 単なる成功例の提示を超えた、日本の産業発展や開発協力の経験とその「翻訳的適応」一外的な文化・システムの要素を自らの世界観とシステムの中で読み換え理解することのプロセスについての包括的な分析を行う(Maegawa 1998) (図1参照)。特に、開発協力アプローチ(規範的、寄り添い型)、対象(枠組み志向、中身志向)その他の影響要因に焦点を当てる(Yanagihara 1998, Ohno 2013) (図2参照)。
- 産業政策、産業人材育成、生産性向上の3分野に焦点を当て、テーマ毎に構成された3チームが同期しつつ研究を実施する(図3参照)。
- JICAの実務者、途上国の政策担当者、他の経済協力・援助機関を研究過程から巻き込み、今後の開発協力への新たな知的貢献を目指す。
- 中間成果物として英文報告書を出版し、その後英文・和文書籍の出版を目指す。

図1. 翻訳的適応プロセスの分析フレームワーク

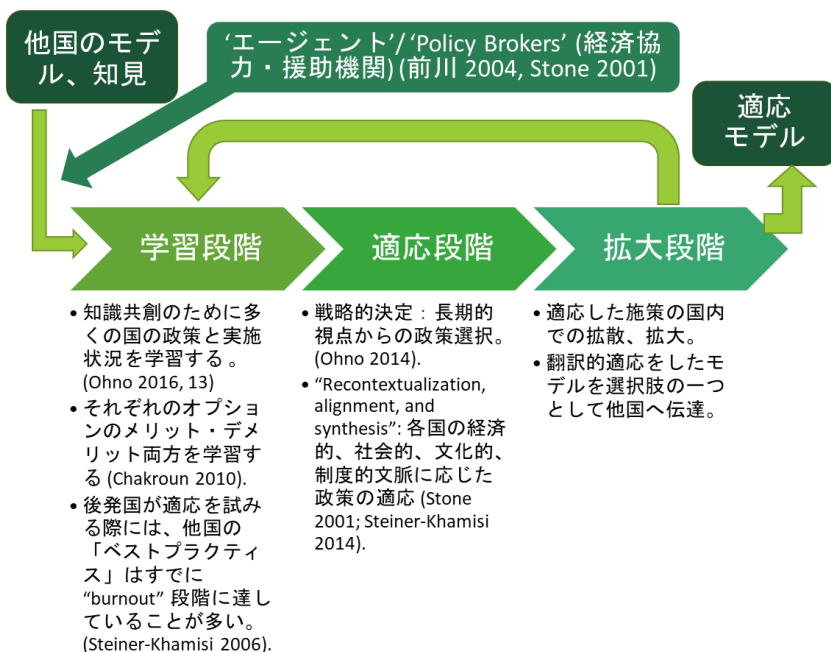


図2. 開発協力対象・アプローチマトリックス

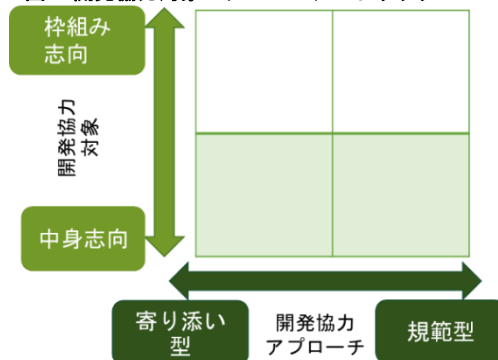
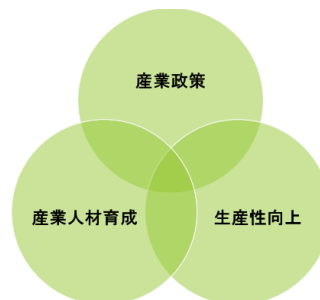


図3. 対象分野



主査： 大野 泉、山田 実

チーム総括：

天津 邦明 (産業政策)

森 純一 (産業人材育成)

神 公明 (生産性向上)

研究調整者：

山田 実、近江 加奈子、山本 彩織

連絡先

山田 実 上席研究員

近江 加奈子 リサーチ・オフィサー

E-mail: Yamada.Minoru@jica.go.jp

E-mail: Omi.Kanako@jica.go.jp

Tel: +81 3 3269 2357 Fax: +81 3 3269 2054

住所：〒162-8433 東京都新宿区山谷本村町 10-5 JICA 緒方貞子平和開発研究所